

シクロケムグループ

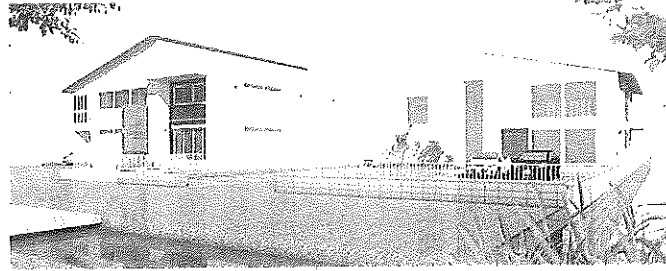
健康食品製造販売のシクロケムグループ(神戸市)は、3月をめどに赤磐市吉原に物流センターを整備する。糖質の一種「シクロデキストリン(CD)」を応用した機能性食品

などの受注増に対応し、岡山市にある拠点を移転拡張。自社製品を集めたアンテナショップも設ける。

(太田知二)

赤磐に物流センター

シクロケムグループが赤磐市に整備する物流センターの完成予想図



CDはでんぷん由来の環状オリゴ糖で、内部にさまざまな物質を取り込む性質がある。有効成分と組み合わせることで、体内に吸収しやすくなり、熱による分解を防い

だりする効果が見込める。同グループは世界トップのCDメーカー・独ワックカーケミー社と提携し、コエンザイムQ10やイソフラボンと組み合わせた健康食品など約50種類を製品化。大手食品メーカーなどにOEM(相手先ブランドによる生産)供給するほか、消費者に直接販売している。ここ数年、CD関連製品の引き合いが増えているのに加え、新規事業として取り組んでいるニュージラント産の高級蜂蜜「マヌカハニー」の販売も好調。岡山市東区瀬戸町にある物流拠点が手狭になっていた。

機能性食品の受注増 アンテナショップなど併設

の倉庫2棟を建設。延床面積は約470平方メートル、既存拠点の4倍の規模になる。敷地内には社製品やマヌカハニー関連商品を扱うショップ併設する。フィットネスジムの複合施設も設け、利者にCD関連の健康食を提供。運動と組み合わせた健康づくりを提案する。従業員は新規採用を含め、10人程度になる。投資額は約3億円。寺尾啓一社長(岡山出身)は「地元を拠点供給網を広げ、CD使った健康食品を多く人に知ってもらいたい」と話している。

シクロケムグループ京都大大学院で博士号取得した寺尾社長が202年に設立。販売部のシクロケムなど3社構成し、売上高は計約億円(16年12月期見み)。従業員約50人。